

【秋季非常招集訓練】実施

飯田市消防団第11分団（石井壮 分団長）は秋季非常招集訓練を行いました。
今年の日本列島は年明けから地震、豪雨による災害等が続いており川路も自然災害に対する備えが必要です。



中継送水をする自動車班



防災川路は可搬ポンプで中継送水

そんな中、行われた秋季非常招集訓練です。消防団員には訓練火災発生場所を非公開としており実際の火災発生時への対応と同じ行動が求められるようです。

また、予期せぬトラブルが発生したり、自然環境の中で取水する困難等が想像できます。

と き：令和6年9月19日（木）

場 所：4区 メガソーラーいいだ付近

参加者：飯田市消防団第11分団、防災川路、赤十字奉仕団川路分団、安全推進委員会、

4区区長、まちづくり委員会三役、自治振興センター所長、伊賀良消防署龍江分署

ようす：午後7時に緊急通報が入ったとの想定で訓練は開始。

この時期、7時ともなると辺りは真っ暗でした。メガソーラー周辺は城山といって川路地区の盛土を採った山です。

取水場所から火災発生場所までは300メートル以上あって、自動車班による中継を介しての消火でした。

ホースを担いで坂道を駆け上がる、ホースの連結～放水まで無線による連絡を取りながらの連携作業をしていました。

無駄なく、急いで、正確にですね！



赤十字奉仕団川路分団の皆さんお疲れ様

赤十字奉仕団川路分団の皆さんは、予防救護班として、参加しました。

消火活動中に団員が負傷との本部からの伝令を受けて対応しました。

頭、手、足と応急処置を手際よくしていました。



暗闇の中で消防自動車は頼もしく活躍



放水開始！です



取水場所はこんな所

山林火災、消火栓、防火水槽がない地域では小川を堰き止めての取水が必要になります。大変な苦勞が想像されますね！



手際よく応急処置をしています



中島良彦会長の講評

【川路保育園】みんなで 稲刈り

川路保育園（宮崎千保子 園長）は今年も地元の農家（関島晟さん中心）の協力をいただき稲刈りを行いました。園児は鎌を使って「稲刈り」から、「はざ」に掛けるまでの体験をすることができました。

と き：令和6年9月30日（月）8時30分～

場 所：右図 

参加者：川路保育園園児、保護者役員、川路保育園先生方
JA職員、川路農業委員会、川路まちづくり役員

ようす：最初に年長（ばら）さんが、JAの職員さんから稲刈りの仕方を教わりました。ギザギザのついた稲刈り鎌

です。年長さんが刈り取った稲は大人が縛りました。稲は何束を縛る？園児サイズ？で5～6束で決まりです！



「にじのきらめき」
という品種です。

いよいよ年中（ゆり）さん、年少（たんぼぼ）さんの出番です。稲の束を「はざ」の所まで運びます。1束ずつ大事に運んで、先生に掛けてもらいました。

収穫したお米は、11月の収穫祭で五平餅を作るそうです。そして、12月には支援米※としてアフリカ「マリ共和国」へ送ります。



※ 支援米：国際協力田として「マリ共和国に物資を支援しよう！」活動の一環だそうです。（関島晟さんより）

川路保育園では、JA県グループが'98年から続ける国際協力田運動に毎年参加しています。県のJAで行われる支援米の発送式には、園児（年長さん）も電車で行って参加します。（電車の乗車体験にもなっています。）

